

「霊の世界を現実が 追いかけている」

ヘブル11：1、1ペテロ2：24

現在、インターネットの様々な媒体を通して人間関係が作られていきます。しかしそれは簡単にできてしまい、深く、長く人間関係を持つにはならないかもしれません。時には一方通行となっている世界です。自分の言いたい事を伝える、批判や中傷が安易にできてしまう側面もあります。反面、たくさんの方々に自分の考えをお知らせすることができる手段としても用いることができます。今までの出会ったことがない方々にも出会うことができます。自分の生き方を多くの方々に示すことができるようになります。それが種蒔きの働きであると信じています。またそれを通してロータリークラブや商工会議所などからも興味を持って頂いて、講演やセミナーなどの依頼もきます。これらのすべては自らに与えられた神の恵みを伝えるだけなのです。これこそ神が与えてくれた私のオリジナルな道です。すべては神さまが用意してくれた道であります。自著などを通して過去を振り返ってみると、今でも感動がよみがえってきます。神に愛されていることを思い出すからです。私の今までの生き方をまとめてみると「人は赦されて元気になり、赦して前進する」ということにまとめることもできます。私たちが元気となる源は神さまに赦されたことを理解していく事が大切であり、そしてそこから前へ進んでいくためには私たちが神さまに赦されたように周りの人を赦していかなければいけません。赦せない時は、出エジプトした民が40年間荒野の中で過ごしていたように、同じところをぐるぐると回っているようなものです。ヘブル11：1「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」保証とは…『間違いがない、大丈夫であると認め、責任をもつこと。債務者が債務を履行しない場合に、代わって債権者に債務を履行する義務を負うこと。』とあります。例として一般的な電化製品についている保証とは製造するメーカーが一定の期間は品質を確約し、万が一不備があったとしても、修理してくれるということです。聖書の世界においては信仰によって歩んでいる時、神は永遠に保証してくれるということを約束しています。それは私たちが目で見えていないことでも必ず与えられると保証されていることを確信しているからです。また私たちの神は「ことば」によってこの世界を作り、「ことば」は神であったとも書かれているほど、聖書はこの言葉に重きをおいています。ですから私たちがどのような言葉を発するのかこれにはとても重要な意味があります。信仰によって目に見えない向こう側を見て肯定的な言葉を出すのか、それとも悲観的な言葉を発するのか大きな違いがあります。そしてそれは私たちの態度にも現れてきます。特に品性の部分において私たち自身が証し者となっていけるようにいろいろな方法を通して私たちに語っています。しかし私たちにキャッチできるのかという事において信仰が関わってきます。まずは神に教えられている小さい事から始めていきましょう。小さな事を忠実にしていくと大きな事を任せられるようになります。キリスト教では信じることで救われます。何か行いが伴った結果、救われるものではありません。ただ信じるが故に救われるのです。そしてそれは強く握って放してはなりません。現在、私たちがイエスキリストを受け入れたおしても、途中で辞めてしまったら、救いは完成しません。これは聖書を通して書かれています。行いによる救いでもありません。信じる信仰によってのみ救いを受け取る事ができます。私たちのために十字架にかかり身代わりとなって下さったイエスキリストの愛を受け入れ、信じるならば救われ復活します。そして私たちはイエスキリストに祈ります。そして瞬時に祈りは神に届いています。祈った結果として「YES」「NO」とすぐ答えが返ってくる場合がありますが、「WAIT」祈りの結果を受け取る事ができるのには時差がある場合もあります。この「信じて待つ」時に信仰が必要になります。「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」とあります。私たちは目の前にある現実を見て、心が萎えてしまい、霊の世界であるイエスキリストを見る事ができなくなり信仰がなくなってしまう時もあります。しかし私たちの人生において何か閉ざされた時こそ、神は私たちを成長させるために力強く働かれています。それは私たちが大きく成長するためです。このことは私たちにあって確信しています。現実では見えていないものも信仰によって進んでいくのであれば、必ず現実になっていきます。イエスキリストを信じる信仰によって、私たちは死んでも復活します。そしてそれは、日常生活の中においても、様々なところで、今までとは違った生活をしていく事ができます。人間関係や経済も良くなっていきます。私たちの問題がだんだんと解決していきます。このことを通しても復活するイエスキリストを感じる事ができます。まだ現実とはなっていませんが、信仰によって信じた事が現実の世界が追いかけてきているような素晴らしい人生となれるようにお祈りいたします。（要約者：平澤 一浩）